

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

○子ども一人ひとりの豊かな成長をめざし、まちと共に歩む魅力ある学校づくりを推進します。

- ・誰もが分かる、学ぶことが楽しいと感じられる授業実践をします。
- ・人とのかかわりや体験的な活動を通して、あたたかな人権関係を基盤とした自己有用感を育み、楽しい学校生活を送れるようにします。
- ・町の人との豊かな交流を意識した教育活動を推進し、地域の一員として「わがまち」を愛する心を育みます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	道徳・特活の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、よりよい人間関係を築くとともに、自他を大切にす る心情や態度を育てる。	① 道徳教育と道徳の時間との関連を図り、年1回の授業公開を行い、家庭との共通理解を図ります。 ② 地域や保護者の協力をいただき、体験的な学習の充実を図るとともに、地域の一員であることに気付かせていきます。 ③ 仲良し学年との交流を充実させ、異学年同士のつながりを築くようにします。 ④ 自己肯定感を高めます。
担当	人権・児童 指導部	

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

大変明るく、素直であり、友達や地域の方と率先してかかわろうとする児童が多い。また、平安スタンダードや教師が伝えたことはしっかり守ろうとする意識はある。しかし、その反面、自尊感情が低く、自分に自信がもてないのか、自ら考え、行動することを苦手とする児童も多い。そこで、自己肯定感を高めるためにもいろいろな人との関わりの中で責任を持ち、ものごとをやりとげたという達成感を味わい、自信をもつことができればと考える。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育

- ・学校教育の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験活動を生かして指導を行います。
- ・道徳教育全体計画・別様を意識し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう積極的に授業を行います。
- ・全学年が年1回の授業公開を行い、家庭との共通理解を図ります。

【項目 『横浜の時間』】豊かな体験を通じた探究的な学習の重視と教科等で培われた資質・能力の活用

- ・地域や保護者の協力をいただき、体験的な学習を図ります。
- ・さまざまな活動を通して、地域の一員としての活動の場を設定し、地域の一員であることに気付くことができるようにします。
- ・仲よし学年との交流を充実させるとともに、学級集団だけではできない異学年同士のつながりを築くようにします。

【項目 人権教育】「子どもの社会的スキル横浜プログラム」等を活用し、あたたかな学級を育む授業の工夫

- ・人権教育全体構造図に基づいて教育活動を行い、知識的側面、態度的側面、技術的側面が育つような授業を意識し、「分かる授業・楽しい授業」を実践して行きます。
- ・教師の人権感覚、人権意識を向上させるために校内研修を行います。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムを位置づけ、意図的計画的に子どもの社会的スキルの系統的な育成を図ります。
- ・YP アセスメントシートを年2回実施し、学級課題や子ども一人ひとりの課題の改善に向けて校内体制を整え、「だれもが安心して豊かに」過ごすことのできる学級風土づくりに向けた協働ができるようにします。